


# 魔界戦記ディスガイア 魔界の王子と赤い月

【まかいせんきでいすがいあ まかいのおうじとあかいつき】

ジャンル	史上最凶やり込みシミュレーションRPG	
対応機種	ニンテンドーDS	
発売元	日本一ソフトウェア	
開発元	システムプリズマ	
発売日	2008年6月26日	
定価	5040円	
分類	劣化移植判定	
<a href="#">魔界戦記ディスガイアシリーズリンク</a>		

## 概要

2003年に発売され、日本一ソフトウェアの名を広く知らしめた名作『魔界戦記ディスガイア』のDS移植版。同社の任天堂ハードにおける初の作品である。

また、追加要素として『ファントムキングダム』や当シリーズのキャラクターデザインを手がける原田たけひとのホームページの看板娘「プレネール」がプレイヤーキャラとして参戦する事が発表されていたことから期待は大きかった...が、しかし...

## 問題点

- ▶ PS2版やPSP版と比べハードや容量の関係上、劣化要素がかなり多い。
- ▶ ファンにとっての最大の不満要素は何よりボイスが削除された事である。
  - ▶ エンディング等に使われていたボーカル曲はインストゥルメンタルに変更され、音質も大幅劣化。
  - ▶ 辛うじて残っているのはオープニングと各話間の次回予告デモ、戦闘中の掛け声のみ。
    - ▶ だが各話間の次回予告デモの声がなぜか半場友恵から若本規夫に変更されており、旧来のファンからは「改悪」と批難される事が多い。
    - ▶ イベントボイス削除の代わりにのつもりなのかイベント中にプリニーの突っ込みが入るプリニーコメントリーが追加されているが、かえって雰囲気壊しているとする意見もあり、賛否両論（ON・OFF可能なので、見たくない場合はOFFに設定すれば見なくて済む）。
    - ▶ プリエ、マジョリーの戦闘中ボイスが削除され、追加ユニットも戦闘中のボイスが無い。（ただし、プレネールは無口という設定があるので仕方がない部分もある。）
- ▶ 携帯機なので仕方がないと言えばそれまでだが、画面の解像度が低い。特に特定の技のエフェクトでキャラが拡大される時にこの傾向が顕著になる。
- ▶ 特殊技のエフェクトが簡素化、または一部カットされている。
  - ▶ おまけにエフェクトが従来作よりややもっさりしている。特にアデルの烈火武神撃は処理落ちにしても酷過ぎる。
- ▶ 敵のステータスの一部が閲覧不可能になった。
- ▶ 弟子作成可能数が減っている（PS2:104人 DS:35人）。
- ▶ セーブデータが削除できない。PS2・PSPではメモリーカードやメモリースティックにデータ管理がされており、セーブデータ削除の機能が不要だったため、ソフトにデータを保存するDSにはセーブデータ削除の機能を追加する必要があり、開発側が気付かなかったものと思われる。

## 長所

- ▶ システムの根幹部分はしっかりとした移植がなされているため、ゲーム性での劣化は無きに等しい。
- ▶ 残念要素こそあれDSのみの追加ユニットもそこそこ使える。プレネールはゲームの進め方次第ではすぐに仲間になるので即戦力として有用であり、他のキャラ達もプリエやマージョリーに負けず劣らず凶悪な性能である。
- ▶ 見下ろしマップの追加で位置関係の把握がしやすくなった。3Dマップと見下ろしマップを同時に表示している点は二画面の特性をうまく生かしているといえる。

## まとめ

旧来のファンから見れば粗が目立つ作品であるが、腐ってもベースは名作と称されたゲームであり、元のゲーム性は失われていないので初めてディスガイアをプレイした層からは概ね好評である。